

「作業環境」の見える化(熱中症予防)

【概要】ウェアラブル機器を活用し、自覚症状が出る前に作業者と管理者に警報通知を行ない、熱中症を未然に防止する。

ウェアラブル機器を活用した熱中症防止 Smartfitの概要

センサーを身体に装着して、60秒ごとに、心拍数、体温、動作の加速度データをクラウドサーバーに送信。ビックデータとして解析され、独自のアルゴリズムで熱中症の危険度を判定して、管理者や装着者本人へ警報を通知する。



図1.Smartfitの概要